

CASIO®

P

3433P * JA

取扱説明書

3433

このたびは弊社製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
末長くご愛用いただくために、この説明書をよくお読みいただき、正しくお取り扱ってくださいようお願い申し上げます。

本機を安全に正しくお使いいただくための注意事項「安全上のご注意」を本書に記載しています。本機をご使用になる前に、必ずお読みください。

なお、この説明書は大切に保管し、必要に応じてご覧ください。

本機の特長

● オート EL バックライト

暗いところでも時計を傾けると表示を明るく照らします。

● ワールドタイム

世界 29 タイムゾーン (48 都市) の時刻を表示させることができます。

● ストップウォッチ

1/100 秒単位で 23 時間 59 分 59 秒 99 (24 時間計) まで計測できます。

● タイマー

1 分単位で 24 時間までセットでき、1 秒単位で減算計測を行います。


● アラーム (3 本) ・時報報知


アラームは 3 本 (通常アラーム 2 本 / スヌーズアラーム 1 本) セットでき、任意の時刻にアラームを鳴らすことができます。また、毎正時 (00 分) に時報を鳴らすことができます。

安全上のご注意

絵表示について 本書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、色々な絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

 **危険** この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。

 **警告** この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が想定される内容を示しています。

 **注意** この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



△ 記号は「気をつけるべきこと」(注意)を意味しています(左の例は感電注意)。



⊘ 記号は「してはいけないこと」(禁止)を意味しています(左の例は分解禁止)。



● 記号は「しなければならないこと」(強制)を意味しています(左の例は電源プラグをコンセントから抜く)。



警告

スキューバダイビングには使用しないでください

本機をスキューバダイビングに使用しないでください。

- 本機はダイバーズウォッチではありません。誤って使用すると、事故の原因となります。



電池の取り扱いについて

本機で使用しているボタン電池を取り外した場合は、誤ってボタン電池を飲むことがないようにしてください。特に小さなお子様にご注意ください。

電池は小さなお子様の手の届かない所へ置いてください。万一、お子様が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。



注意

お手入れについて

ケース・バンドは汚れからさびが発生し、衣服の袖口を汚すことがあります。ケース・バンドは常に清潔にご使用ください。特に、海水に浸した後放置しておくとしび易くなります。

かぶれについて

時計の本体およびバンドは、直接肌に接触していますので、使用状態によってはかぶれを起こす恐れがあります。

- ① 金属・皮革に対するアレルギー
 - ② 時計の本体およびバンドの汚れ・さび・汗等
 - ③ 体調不良等
- バンドをきつくしめると、汗をかきやすくなり、空気の通りが悪くなりますのでかぶれ易くなります。バンドは余裕をもたせてご使用ください。
 - 「抗菌防臭バンド」は汗などによる細菌の繁殖を抑え、においの発生を防ぐもので、皮膚のかぶれを防ぐものではありません。
 - 万一、異常が生じた場合は、ご使用を中止し、医師にご相談ください。



注意

分解しないでください

本機を分解しないでください。けがをしたり、本機が故障する原因となることがあります。



ご使用にあたって

時計表示の確認は、思わぬ転倒やけがの予防のため、十分に安全が確認された場所で行ってください。特に、道路でのマラソンやジョギング、自転車やバイク・自動車等の運転中は事故の原因になることがありますので、十分にご注意ください。また、第三者への接触による事故防止にも十分にご注意ください。

時計が止まった場合は、速やかに電池を交換してください。

時計着脱の際に、バンドの中留で爪を傷つける恐れがありますのでご注意ください。特に、長く伸ばした爪では、中留の操作はおやめください。

思わぬけがやアレルギーによるかぶれを防ぐため、就寝時は時計をはずすなど十分にご注意ください。

幼児を抱いたり、接したりする場合は、幼児のけがやアレルギーによるかぶれを防ぐため、時計をはずすなど十分にご注意ください。



ご使用にあたって

時計本体（裏ぶたを含む）やバンドに製品保護シールが付いている場合は、ご使用になる前に必ずはがしてください。シールをはがさずにご使用になると、「時計本体やバンド」と「シール」との隙間に汚れが付着し、さびやかぶれの原因となることがあります。

オートライト作動時のご使用について

オートライト作動状態のとき、本機を腕につけて自動車などを運転すると、不用意にライトが点灯し、運転の妨げになり危険ですのでおやめください。交通事故の原因となることがあります。

目次

安全上のご注意	1
液晶表示について	7
操作音について	7
操作音の ON / OFF 設定	7
操作のしくみと表示の見方	8
ライト点灯について	10
ボタンを押して点灯させる	10
時計を傾けて点灯させる	10
ライト点灯時間の切替え	12
報音に合わせてライトを点滅させる	13
ON / OFF 設定	13
ワールドタイムの使い方	14
都市の選択	14
サマータイム (DST) について	14
サマータイムの設定	14
都市コード一覧	15
ストップウォッチの使い方	16
計測のしかた	16
オートスタート機能	17
タイマーの使い方	18
タイマー方法について	18

電子音の報音について	18
タイマー時間・タイマー方法・予告音のセット	19
タイマー計測のしかた	20
アラーム・時報の使い方	21
アラームについて	21
アラーム時刻のセット	21
アラームの ON / OFF 設定	22
鳴っている電子音を止めるには	23
モニターアラーム	23
時報について	23
時報の ON / OFF 設定	23
時刻・日付の合わせ方	24
時刻・日付・時差のセット	24

製品仕様	26
ご使用上の注意	28
お手入れについて	31
電池交換について	32
金属バンドの駒詰めについて	32

液晶表示について

製品によって、液晶表示のタイプが異なります。本書に記載しているイラストは、視認性を考慮して「白地に黒」で描写しております。

- 液晶表示のタイプは製品によって決まっているため、1つの製品でタイプを切り替えることはできません。



操作音について

モード切替え時などに鳴る操作音の ON / OFF を切り替えることができます。

■ 操作音の ON / OFF 設定

「セット中（表示点滅）」や「アラームなどの電子音が鳴っているとき」以外の、どのモードのときでも、

◎ ボタンを約 3 秒間押し続けます

⇒ 確認音が鳴り、操作音の ON / OFF が切り替わります。

- ※ 操作音を OFF にしているときは、MUTE マークが点灯します。
- ※ ◎ ボタンを押したときに、モードも切り替わりますので、ご注意ください。
- ※ 操作音が OFF でも、アラーム音、時報音、タイマーのタイムアップ音、ストップウォッチのオートスタート音は鳴ります。



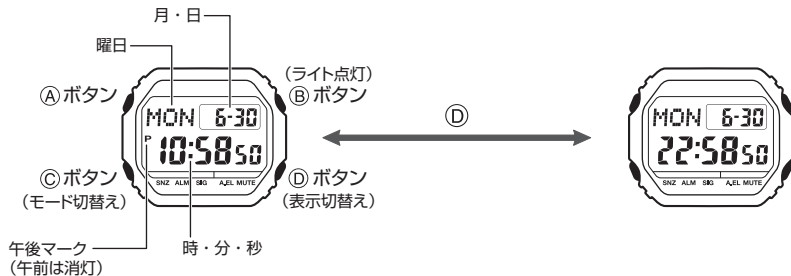
MUTEマーク

操作のしくみと表示の見方

◎ ボタンを押すごとに、以下の順でモードが切り替わります。

※ アラームモードで2～3分間何も操作を行わないと、自動的に時刻モードになります。

時刻モード



★ 曜日の見方

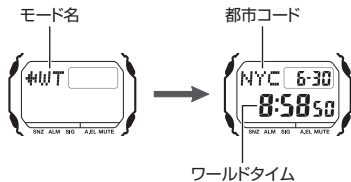
SUN:日 MON:月 TUE:火
WED:水 THU:木 FRI:金
SAT:土

★ 12/24 時間制表示切替え

時刻モードのとき、◎ ボタンを押すごとに 12 時間制表示と 24 時間制表示が切り替わります。

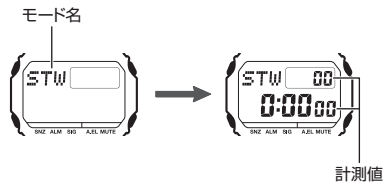
※ アラームモードから時刻モードに切り替わるとき、モード名 "◆HT" (HT = ホームタイム) が表示されてから、時刻が表示されます。

ワールドタイムモード



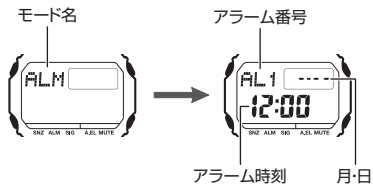
P-14

ストップウォッチモード



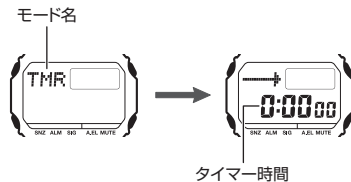
P-16

アラームモード



P-21

タイマーモード



P-18

ライト点灯について

暗い場所で表示を見たいときは、ボタンを押してライトを点灯させることができます。また、時計を傾けるとライトが点灯するオートライト機能もあります。

■ ボタンを押して点灯させる

～手動点灯～

「セット中（表示点滅）」以外の、どのモードのときでも、

② ボタンを押します

※ 点灯時間は約 1.5 秒間と約 3 秒間のいずれかを選ぶことができます（12 ページ参照）。

※ オートライト OFF のときも、② ボタンを押すと点灯します。



本機を振ると「カラカラ」と音がすることがあります。これはオートライト機能のためのスイッチ（金属球）が内部で動くための音で、故障ではありません。

■ 時計を傾けて点灯させる

～オートライト機能～

オートライトは、ボタンを押さなくても時計を傾けるだけでライトが点灯する便利な機能です。暗い場所で時刻などを見るときに大変便利です。オートライト機能では、どのモードのときでも、時計を傾げるだけでライトが約 1.5 秒間または約 3 秒間点灯します。

準備：時刻モードのとき、② ボタンを約 3 秒間押し続けて、オートライト ON（オートライト ON マーク点灯）にします。



オートライトONマーク

※ オートライト ON のとき、時刻モードで ② ボタンを約 3 秒間押し続けるとオートライト OFF（オートライト ON マーク消灯）に戻ります。

●ライトを点灯させる



※ オートライト機能を使用するときは、時計を「**手首の外側**」にくるようにつけてください。

※ 文字板の左右（3時－9時方向）の角度を±15°以内にしておいてください。15°以上傾いていると点灯しにくくなります。



〈ライト点灯についてのご注意〉

- 直射日光下では点灯が見えにくくなります。
- 点灯中にいずれかのボタンを押したり、アラームなどが鳴り出すと点灯を中断します。
- 点灯中に時計本体より音が聞こえることがありますが、これはELパネルが点灯する際の振動音であり、異常ではありません。

〈オートライトご使用時の注意〉

- オートライトが作動するのは、オートライト ON にしてから約6時間です。それ以降は電池消耗防止のため、自動的にオートライト OFF になります。
- ※ 引き続きオートライトを作動させたいときは、再度時刻モードで **Ⓑ** ボタンを約3秒間押し続けてオートライト ON マークを点灯させてください。ただし、オートライトを頻繁に使用すると電池寿命が短くなりますのでご注意ください。
- 時計を傾けたとき、ライトの点灯が一瞬遅れることがあります。異常ではありません。
- ライト点灯後、時計を傾けたままにしても、点灯は約1.5秒間または約3秒間のみとなります。
- 時計を「手首の内側」につけていたり、腕を振ったり、腕をあげたりしても点灯することがあります。**オートライトを使用しないときは必ず OFF** しておいてください。
- ※ 時計を「手首の内側」につけるときは、できるだけオートライトを OFF にしてご使用ください。
- 静電気や磁気などでオートライトが動作しにくくなり、点灯しないことがあります。このときはもう一度水平状態から傾けてみてください。なお、それでも点灯しにくいときは、腕を下からふりあげてみると点灯しやすくなります。

■ ライト点灯時間の切替え

1. セット状態にする

時刻モードのとき、

**Ⓐ ボタンを約 1 秒間押し
続けます**

⇒「秒」が点滅します。

※ セット状態で 2～3 分間
何も操作を行わないと、自
動的にセット状態が解除
されます。



3. セットを終わる

Ⓐ ボタンを押します

⇒点滅が止まり、セット完了です。

2. 点灯時間を切り替える

Ⓑ ボタンを押します

⇒ Ⓑ ボタンを押すごとに約
1.5 秒間と約 3 秒間が切
り替わります。

※ ♠ マーク=約 1.5 秒間
⦿ マーク=約 3 秒間



報音に合わせてライトを点滅させる

アラーム・時報、タイマーのタイムアップ音、ストップウォッチのオートスタート音に連動して、ライトを点滅させることができます。

■ ON / OFF 設定

1. セット状態にする

時刻モードのとき、

Ⓐ ボタンを約 1 秒間押し続けます

⇒ 「秒」が点滅します。

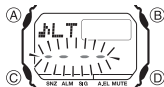
※ セット状態で 2～3 分間何も操作を行わないと、自動的にセット状態が解除されます。



2. 「報音に合わせたライト点滅」設定「AL T」を選ぶ

Ⓒ ボタンを 8 回押します

⇒ 「AL T」が点灯し、「-----」または「SY NC」が点滅します。



3. ON / OFF を切り替える

Ⓓ ボタンを押します

⇒ Ⓓ ボタンを押すごとに ON「SY NC」と OFF「-----」が切り替わります。



4. セットを終わる

Ⓐ ボタンを押します

⇒ 点滅が止まり、セット完了です。

★ ON に設定しているときは、ストップウォッチモード、タイマーモード、アラームモードに切り替えると、1 秒間「SY NC」が表示されてから各モードの表示になります。

ワールドタイムの使い方

8 ページの「操作のしくみと表示の見方」にしたがい
◎ ボタンを押して、ワールドタイムモードにします。

ワールドタイムモードでは、世界 29 タイムゾーン（48 都市）の時刻を簡単に知ることができます。

※ ワールドタイムモードに切り替えると、前回選んだ都市の時刻を表示します。

※ 時刻モードで現在時刻および時差をセットすると、時差にしたがい他の都市の時刻も自動的にセットされま

す。
※ 現在時刻を 24 時間制にしているときは、ワールドタイムも 24 時間制で表示されます。

■ 都市の選択

ワールドタイムモードのとき、

◎ ボタンを押します

⇒ ◎ ボタンを押すごとに「都市コード」が 1 つずつ進みます。

※ ◎ ボタンを押し続けると早送りができます。



■ サマータイム(DST)について

サマータイムとは DST (Daylight Saving Time) とも言い、通常の時刻（スタンダードタイム）から 1 時間進める夏時間制度のことです。

- サマータイムを採用していない国や地域があります。
- サマータイムを採用していても、その期間は国や地域により異なります。

■ サマータイムの設定

1. ワールドタイムモードのとき、◎ ボタンを押してサマータイム設定したい都市コードを選びます。

2. ◎ ボタンを約 1 秒間押し続けます

⇒ DST マークが点灯して、通常の時刻より 1 時間進みます。

※ DST マークが点灯しているときに、◎ ボタンを約 1 秒間押し続けると通常の時刻に戻ります。

※ 都市ごとにサマータイムの設定ができます。



■ 都市コード一覧

コード	時差	都市名	コード	時差	都市名
PPG	- 11	パゴパゴ	IST	+ 2	イスタンブール
HNL	- 10	ホノルル	CAI	+ 2	カイロ
ANC	- 9	アンカレジ	JRS	+ 2	エルサレム
YVR	- 8	バンクーバー	MOW*2	+ 3	モスクワ
SFO	- 8	サンフランシスコ	JED	+ 3	ジェッダ
LAX	- 8	ロサンゼルス	THR	+ 3.5	テヘラン
DEN	- 7	デンバー	DXB	+ 4	ドバイ
MEX	- 6	メキシコシティ	KBL	+ 4.5	カブール
CHI	- 6	シカゴ	KHI	+ 5	カラチ
MIA	- 5	マイアミ	MLE	+ 5	マーレ
NYC	- 5	ニューヨーク	DEL	+ 5.5	デリー
CCS*1	- 4	カラカス	DAC	+ 6	ダッカ
YYT	- 3.5	セントジョンズ	RGN	+ 6.5	ヤンゴン
RIO	- 3	リオデジャネイロ	BKK	+ 7	バンコク
RAI	- 1	フライア	SIN	+ 8	シンガポール
LIS	0	リスボン	HKG	+ 8	香港
LON	0	ロンドン	BJS	+ 8	北京
BCN	+ 1	バルセロナ	SEL	+ 9	ソウル
PAR	+ 1	パリ	TYO	+ 9	東京
MIL	+ 1	ミラノ	ADL	+ 9.5	アデレード
ROM	+ 1	ローマ	GUM	+ 10	グアム
BER	+ 1	ベルリン	SYD	+ 10	シドニー
ATH	+ 2	アテネ	NOU	+ 11	ヌーメア
JNB	+ 2	ヨハネスブルグ	WLG	+ 12	ウェリントン

※ この表は本機の都市コードの一覧です。

※ この表の時差は協定世界時（UTC）を基準としたものです。

※ 各国の時差およびサマータイムは国の都合により変更されることがあります。

*1 2013年12月現在、CSS（カラカス）の時差は「- 4.5」に変更されていますが、本機では対応しておりません。「時差-4の地域」としてご使用ください。

*2 2013年12月現在、MOW（モスクワ）の時差は「+ 4」に変更されていますが、本機では対応しておりません。サマータイム設定をONにして、1時間進めてご使用ください。

ストップウォッチの使い方

8 ページの「操作のしくみと表示の見方」にしたがい
◎ ボタンを押して、ストップウォッチモードにします。

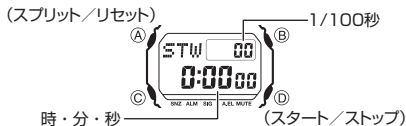
ストップウォッチは 1/100 秒単位で 23 時間 59 分 59 秒 99 (24 時間計) まで計測できます。計測範囲を超えると、自動的に 0 に戻って計測し続けます。

計測のしかた

ストップウォッチモードのとき、

◎ ボタンを押します

⇒ ◎ ボタンを押すごとに、計測がスタート/ストップします。



- ★ 計測ストップ後 (A) ボタンを押すと、計測値が 0 に戻ります (リセット)。
- ★ 計測中に他のモードに切り替えても、内部では計測を継続します。

● 通常計測



<積算計測>

ストップ後リセットせずに ◎ ボタンを押して再スタートすれば、表示タイムに引き続き計測を始めます。

● スプリットタイム (途中経過時間) の計測

計測中に (A) ボタンを押すと、表示は止まりますが、内部では計測を続けるスプリット計測となります (“SPL” が点灯)。



※ スプリット計測中に、他のモードに切り替えた後にストップウォッチモードに戻ったときは、スプリットタイム表示は解除されています。

● 1・2 着同時計測



■ オートスタート機能

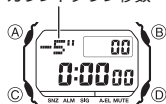
オートスタート機能とは、スタート（計測開始）の5秒前からカウントダウンを開始し、3秒前から1秒ごとに電子音で報知するものです。

● オートスタート設定をする

計測リセット状態のとき、
Ⓐ ボタンを押します

→ Ⓐ ボタンを押すごとに、通常表示とオートスタート表示が切り替わります。

<オートスタート表示>
カウントダウン秒数



● オートスタートで計測を開始する

オートスタート表示のとき、Ⓓ ボタンを押します

→ 5秒前からカウントダウンを始めます。3秒前からは1秒ごとに電子音が鳴ります。

※ カウントダウンを中止してすぐにスタートさせたいときは、Ⓓ ボタンを押します。

※ 計測開始後は、通常のストップウォッチのボタン操作と同様になります。

※ 計測を終了してリセットすると、オートスタート設定も解除されます。

タイマーの使い方

8 ページの「操作のしくみと表示の見方」にしたがい
◎ ボタンを押して、タイマーモードにします。

タイマー時間は 1 分単位で 24 時間までセットすることができ、1 秒単位で減算計測を行います。
また、タイムアップ後も自動的に計測を繰り返すオートリピートタイマーとしても使えます。

■ タイマー方法について

本機のタイマーは以下の 2 種類があり、使い方に合わせてお好きな方を選ぶことができます。

* タイマー方法の選び方については 19 ページ参照。

● リピートタイマー（繰り返し計測）

タイムアップすると、タイマー時間を表示して、計測が止まります。同じ時間を何回も計測するときに便利です。

● オートリピートタイマー（自動繰り返し計測）

タイムアップしても、タイマー時間に戻り、計測ストップするまで自動的に繰り返し計測を行います。

■ 電子音の報音について

本機のタイマーは以下のように電子音が鳴ります。

* 予告音の ON / OFF 設定については 19 ページ参照。

● 予告音 ON に設定したときは

残り時間 5 分 10 秒～ 5 分のとき	1 秒ごとに電子音が鳴ります。
残り時間 4 分～1 分 のとき	1 分ごとに電子音が鳴ります。
残り時間 30 秒	電子音が 1 秒鳴ります。
残り時間 10 秒～0 秒 (タイムアップ)	1 秒ごとに電子音が鳴ります。

※ セットした時間が 5 分以下のときは途中から鳴ります。

● 予告音 OFF に設定したときは

セットした時間を経過すると 10 秒間の電子音でタイムアップを知らせます。

※ 電子音が鳴っているときに、いずれかのボタンを押すと音が止まります。

■ タイマー時間・タイマー方法・予告音のセット

準備：タイマー計測中の場合は、**④** ボタンを押して計測をストップしてから **①** ボタンを押して計測時間をリセットします。

タイマー計測がストップしている場合は、**①** ボタンを押して計測時間をリセットします。

1. セット状態にする

タイマーモードのとき、

① ボタンを約 1 秒間押し続けます

⇒タイマー時間の「時」が点滅します。

※セット状態で 2～3 分間何も操作を行わないと、自動的にセット状態が解除されます。



タイマー時間(時)

2. 「時」をセットする

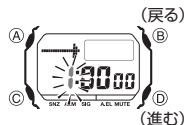
④ または **②** ボタンを押します

⇒**④** ボタンを押すごとに 1 つずつ進み、**②** ボタンを押すことに戻ります。

※ **④**・**②** ボタンとも、押し続けると早送りができます。

※ 1 分単位で 24 時間までセットできます。

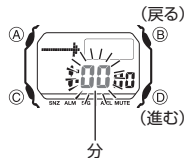
※ 24 時間をセットするときは、表示を「0:00」にします。



3. 「分」をセットする

③ ボタンを押します

⇒「分」が点滅します。「分」も「時」と同様に **④** または **②** ボタンでセットします。

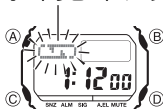


4. タイマー方法を切り替える

- Ⓒ ボタンを押してから、
- Ⓓ ボタンを押します

→ Ⓓ ボタンを押すごとにリピートタイマー "→" とオートリピートタイマー "→" が切り替わります。

オートリピートマーク



5. 予告音の ON / OFF を切り替える

- Ⓒ ボタンを押してから、
- Ⓓ ボタンを押します

→ Ⓓ ボタンを押すごとに ON / OFF が切り替わります。

- ※ ♪ ON = 予告音 ON
- ♪ OFF = 予告音 OFF



6. セットを終わる

- Ⓐ ボタンを押します

→ 点滅が止まり、セット完了です。

■ タイマー計測のしかた

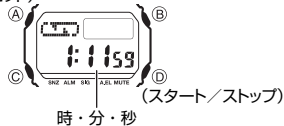
タイマーモードのとき、

- Ⓓ ボタンを押します

→ Ⓓ ボタンを押すごとに計測がスタート/ストップします。

※ 1秒単位で計測を行います。

(リセット)



★ 計測ストップ後 Ⓐ ボタンを押すと、計測前の表示に戻ります (リセット)。

★ Ⓓ ボタンでストップ後もう一度 Ⓓ ボタンを押すと、表示タイムに引き続き計測を始めます。

アラーム・時報の使い方

8 ページの「操作のしくみと表示の見方」にしたがい
◎ ボタンを押して、アラームモードにします。

■ アラームについて

● 通常アラーム (AL1 ~ AL2)

設定した時刻になると 10 秒間の電子音が鳴ります。

● スヌーズアラーム (SNZ)

設定した時刻になると 10 秒間の電子音が鳴り、5 分おきに合計 7 回報音を繰り返します。
なお、ボタンを押して音を止めても再び鳴り出します。

■ アラーム時刻のセット

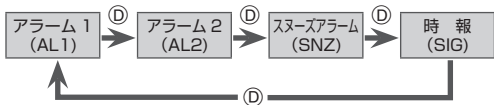
1. アラームを選ぶ

アラームモードのとき、

◎ ボタンを押します

→◎ ボタンを押すごとに表示が以下の順で切り替わります。セットしたいアラームを選びます。

アラーム番号



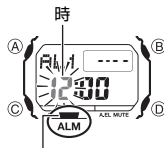
2. セット状態にする

◎ ボタンを約 1 秒間押し続けます

→「時」が点滅します。

※ アラームマークが点灯して、自動的にアラーム ON になります。なお、スヌーズアラームのときはスヌーズマークも点灯します。

※ セット状態で 2 ~ 3 分間何も操作を行わないと、自動的にセット状態が解除されます。

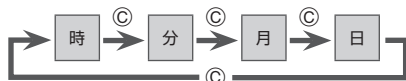
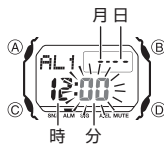


アラームマーク

3. セット箇所を選ぶ

◎ ボタンを押します

→◎ ボタンを押すごとに点滅箇所が以下の順で移動します。セットしたい箇所を点滅させます。



4. 点滅箇所のセット

① または ② ボタンを押します

→ ① ボタンを押すごとに1つずつ進み、② ボタンを押すことに戻ります。

- ※ ①・② ボタンとも、押し続けると早送りができます。
- ※ 「月」や「日」をセットしないときは、「-」または「---」を表示させます。
- ※ 「時」のセットのとき午前/午後 (P)、または 24 時間制にご注意ください。
- ※ 現在時刻を 24 時間制にしているときは、アラーム時刻も 24 時間制で表示されます。
- ※ 「時・分」に加えて、「月」や「日」をセットすることにより、以下のようにアラームを鳴らすタイミングが選べます。
 - ・毎日鳴らす→「時・分」のみセット
 - ・指定月に毎日鳴らす→「月・時・分」のみセット
 - ・毎月同じ日に鳴らす→「日・時・分」のみセット
 - ・指定月日に鳴らす→「月・日・時・分」すべてセット



■ アラームの ON / OFF 設定

準備：アラームモードのとき、① ボタンを押して、鳴らしたいアラームを選びます。

① ボタンを押します

- ① ボタンを押すごとに、アラームの ON / OFF が切り替わります。
- ※ アラームマークが点灯しているときが ON となり、アラームが鳴ります。なお、スヌーズアラームのときはスヌーズマークも点灯します。

<アラーム1表示>



アラームマーク

<スヌーズアラーム表示>



スヌーズマーク
アラームマーク

5. セットを終わる

① ボタンを押します

→ 点滅が止まり、セット完了です。

■ 鳴っている電子音を止めるには

いずれかのボタンを押すと、音が止まります。

- ※ スヌーズアラームのときは、約5分後に再び鳴り出します（スヌーズアラーム機能中はスヌーズマークが点滅します）。
- ※ スヌーズアラーム機能中に以下の操作を行うと、点滅が止まり、スヌーズアラームが終了します。
 - スヌーズアラームを OFF に切り替えたとき。
 - スヌーズアラームをセット状態にしたとき。
 - 時刻モードでセット状態にしたとき。

■ モニターアラーム

アラームモードのとき ④ ボタンを押し続けると、押し続けている間、電子音が鳴ります。

■ 時報について

毎正時（00 分のとき）に“ピッピッ”と電子音を鳴らすことができます。

■ 時報の ON / OFF 設定

準備：アラームモードのとき、① ボタンを押して、時報表示を選びます。

① ボタンを押します

⇒ ① ボタンを押すごとに、時報の ON / OFF が切り替わります。

※ 時報マークが点灯しているときに ON となり、時報が鳴ります。



時刻・日付の合わせ方

以下の操作は時刻モードで行います。

■ 時刻・日付・時差のセット

1. セット状態にする

時刻モードのとき、

Ⓐ ボタンを約 1 秒間押し
続けます

⇒「秒」が点滅します。

※ セット状態で 2～3 分間
何も操作を行わないと、自
動的にセット状態が解除
されます。



2. 秒合わせ…30 秒以内の遅れ／進みの修正

時報に合わせて Ⓓ ボタン
を押します

⇒「00 秒」からスタートし
ます。

※ 秒が 00～29 のときは
切り捨てられ、30～59
のときは 1 分繰り上がつ
て「00 秒」になります(時
報は「時報サービス 117
番」が便利です)。



3. サマータイム (DST) の ON / OFF を切り替える

Ⓒ ボタンを押してから、
Ⓓ ボタンを押します

⇒ Ⓓ ボタンを押すごとに
ON / OFF が切り替わり
ます。

※ OFF = スタンダードタイム (通常時間)
ON = サマータイム (夏時間)

* サマータイム (DST) については 14 ページ参照。



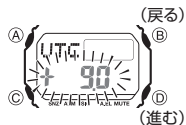
4. 「時計を使用する地域の時刻（ホームタイム）」と「協定世界時（UTC）」との時差を設定する

③ ボタンを押してから、
④ または ⑤ ボタンを押します

⇒ ④ ボタンを押すごとに「時差」が0.5時間ずつ進み、
⑤ ボタンを押すごとに戻ります。

- ※ ④・⑤ ボタンとも、押し続けると早送りができます。
- ※ 時差を設定してから、時刻セットを行ってください。

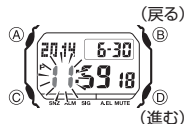
* UTC との時差については 15 ページ参照。



b. ④ または ⑤ ボタンを押します

⇒ ④ ボタンを押すごとに1つずつ進み、⑤ ボタンを押すことに戻ります。

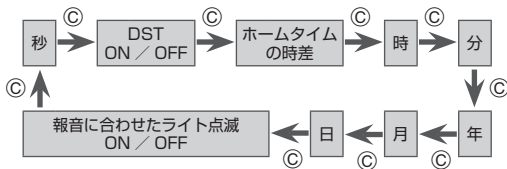
- ※ ④・⑤ ボタンとも、押し続けると早送りができます。
- ※ 「時」のセットのとき午前／午後 (P)、または 24 時間制にご注意ください。
- ※ 「年」は 2000 年～ 2099 年の範囲内でセットできます。「曜日」は自動的に設定されますので、「年」は正しくセットしてください。
- ※ カレンダーはうるう年、大の月および小の月を判別するフルオートカレンダーです。



5. 「時刻・日付」合わせ

a. ③ ボタンを押します

⇒ ③ ボタンを押すごとに点滅箇所が以下の順で移動しますので、合わせたい箇所を点滅させます。



6. セットを終わる

③ ボタンを押します

⇒ 点滅が止まり、セット完了です。

製品仕様

水晶発振周波数：32,768Hz

精度：平均月差± 15 秒

基本機能：時・分・秒、
午前／午後 (P) / 24 時間制表示、
月・日・曜日、
フルオートカレンダー
(2000～2099 年)

ワールドタイム機能：世界 29 タイムゾーン (48 都市) の
時刻を表示、サマータイム設定

ストップウォッチ機能：計測単位 = 1/100 秒
計測範囲 = 23 時間 59 分 59 秒 99
(24 時間計)
計測機能 = 通常計測、積算計測、
スプリット計測、
1・2 着同時計測、
オートスタート機能

タイマー機能：セット単位 = 1 分
計測単位 = 1 秒
計測範囲 = 24 時間
リピートタイマー／オートリピートタイマー切替え、予告音 ON/OFF 切替え

アラーム機能：時刻アラーム

通常アラーム = 2 本
スヌーズアラーム = 1 本
セット単位 = 時・分・月・日
電子音 = 10 秒間
時報 毎正時に電子音で報知

その他：自動復帰機能、
12/24 時間制表示切替え、
モニターアラーム、
オート EL バックライト、
報音に合わせたライト点滅、
操作音 ON/OFF 切替え

使用電池：CR2025 1 個 (電池別途販売)

電池寿命：約 10 年

(1 日あたりライトを 1.5 秒間、電
子音を 10 秒間使用した場合)

memo

ご使用上の注意

■ 防水性

- 防水時計は時計の表面または裏ぶたに「WATER RESIST」または「WATER RESISTANT」と表示されているもので、次のように分類されます。

表示	時計の表面または裏ぶたに表記	日常生活用防水 「BAR」表記無し	日常生活用強化防水		
			5気圧防水	10気圧防水	20気圧防水
		5BAR	10BAR	20BAR	
使用例	洗顔、雨	○	○	○	
	水仕事、水泳	×	○	○	
	ウインドサーフィン	×	×	○	
	スキューバダイビング(素潜り)	×	×	○	

- 専門的な潜水=スキューバダイビング(空気ボンベ使用)でのご使用はお避けください。
- 時計の表面または裏ぶたに「WATER RESIST」または「WATER RESISTANT」と表示されていないものは防汗構造になっておりませんので、多量の汗を発する場合、もしくは湿気が多い場所でのご使用や直接水に触れるようなご使用はお避けください。
- 防水構造の機種でも、以下のご使用はお避けください。
 - 防水性能の低下や、ガラスの内側が曇る原因になります。
 - 「水中で」および「時計に水分がついた状態で」りゅうすやボタンを操作すること
 - 入浴のときに使用すること
 - 温水プールやサウナなどの高温多湿な環境で使用すること
 - 時計を手につけたまま手洗い/洗顔/家事などをするとときに、石鹸や洗剤を使うこと

- 海水に浸したときは真水で洗い、塩分や汚れを拭き取ってください。
- 防水性を保つために定期的(2~3年を目安)なパッキン交換をおすすめします。
- 電池交換の際、防水検査を行いますので、必ずお買い上げの販売店または「修理サービス窓口」にお申し付けください(特殊な工具を必要とします)。
- 防水時計の一部にデザイン上、皮革バンドを使用しているモデルがありますが、皮革バンド付の状態での水仕事・水泳など直接水のかかるご使用はお避けください。
- 時計が急冷された場合など、ガラスの内側が曇ることがありますが、すぐに曇りが無くなるようであれば特に問題はありません。夏季に高温の室外から室内に入りエアコンの吹き出し口付近で冷気にさらされたり、冬季に暖かい室内から出て屋外の冷気や雪に触れた場合など、外気と時計内部の温度差が大きくなることによって曇る時間が長くなることがあります。なお、曇りが消えなかったり、時計内部に水が残っている場合は、ただちにご使用をやめて、修理をお買い上げの販売店または「修理サービス窓口」にお申し付けください。

■ バンド

- バンドをきつくしめると、汗をかきやすくなり、空気の通りが悪くなりますのでかぶれ易くなります。バンドは指一本が入る程度の余裕をもたせてご使用ください。
- バンドは、劣化やさびなどにより、切れたり外れたりすること、接合部のピンが飛び出したり抜け落ちたりすることがあります。これらは、時計の落下や紛失、けがの原因となります。バンドは常にお手入れをして清潔な状態でご使用ください。
- バンドに弾力性がなくなる、ひび割れ、変色、緩み、接合部のピンの飛び出しや抜け落ちなどの異常がある場合は、ご使用をやめてください。点検・修理(有償)や新しいバンドとの交換を、お買い上げの販売店または「修理サービス窓口」にお申し付けください。

■ 温度

- 自動車のダッシュボードや暖房器具の近く等の高温になる場所に放置しないでください。また、寒い所に長く放置しないでください。遅れ、進みが生じたり、止まったり、故障の原因となります。
- +60℃以上の所に長時間放置すると液晶パネルに支障をきたすことがありますのでご注意ください。液晶表示は、0℃以下や+40℃以上では、表示が見えにくくなることがあります。

■ ショック

- 通常の使用状態でのショックや軽い運動（キャッチボール、テニスなど）には十分耐えますが、落としたり、強くぶつけたりすると、故障の原因になります。ただし、耐衝撃構造の時計の場合（G-SHOCK/Baby-G/G-ms）は腕につけたままでチェーンソーなどの強い振動や、激しいスポーツ（モトクロスなど）でのショックを受けても時計には影響ありません。

■ 磁気

- 通常、磁気の影響はありませんが、極度に強い磁気（医療機器など）は誤動作や電子部品を破損する恐れがありますのでお避けください。

■ 静電気

- 静電気により誤った時刻を表示したりします。また、極度に強い静電気は、電子部品を破損する恐れがあります。
- 静電気により、一時的に液晶の点灯していない部分ににじみ現象が発生することがあります。

■ 薬品類

- シンナー、ガソリン、各種溶剤、油脂またはそれらを含有しているクリーナー、接着剤、塗料、薬剤、化粧品類等が付着すると、樹脂ケース、樹脂バンド、皮革などに変色や破損を生ずることがありますのでご注意ください。

■ 保管

- 長期間ご利用にならないときは汚れ、汗、水分などを拭き取り、高温、多湿の場所を避けて保管してください。

■ 樹脂部品について

- 長時間、他の製品と密着させたり、濡れたまま他の製品と一緒にしておくと、他の製品に色が移行したり、他の製品の色が樹脂部品に移行したりすることがありますので、濡れているときはすぐに水分を拭き取り、他の製品に密着させたままにしないでください。
- 長時間、直射日光（紫外線）に当てたり、汚れが付着したまま放置すると色あせする場合があります。
- 塗装部品は、使用状況（過度の外力、連続したこすれ、衝撃等）により磨耗し色落ちしたりすることがあります。
- バンドにプリントがしてある場合は、プリント部分を強くこすると他の部分に色がつくことがあります。
- 蛍光商品は、長時間濡れたままにしておくとも色が落ちる恐れがありますので、濡れているときはすぐに水分を拭き取って、乾かしてください。
- スケルトン（透明）仕様の部品は、汗や汚れ等の吸収や高温多湿への放置により変色を起こすことがあります。
- ご使用状態や保管環境により異なりますが、日々のご使用や長期保管によって劣化し、切れたり、折れたりすることがあります。

■ 皮革バンドについて

- 長時間、他の製品と密着させたり、濡れたまま他の製品と一緒にしておくと、他の製品に色が移行したり、他の製品の色が皮革バンドに移行したりすることがありますので、濡れているときはすぐに柔らかい布などで軽く拭いて、他の製品に密着させたままにしないでください。
- 長時間、直射日光（紫外線）に当てたり、汚れが付着したまま長時間放置すると色あせする場合があります。
ご注意：皮革バンドは、摩擦・汚れにより色を移したり、色落ちすることがあります。

■ 金属部品について

- 金属は、ステンレスやメッキ品でも汚れたままご使用になりますと、さびが発生することがあります。汗をかいたときや水に濡らしたときは、柔らかい吸湿性の良い布などでよく拭き取った後に、通気性の良い場所に保管し、よく乾燥させてください。
- とまどき、柔らかい歯ブラシに中性洗剤を水で薄めた液や石鹼水をつけて、こすり洗いをしてください。その後、洗剤成分を水でよく洗い流し、柔らかい吸湿性の良い布などで水分を拭き取ってください。なお、洗うときは「調理用ラップを巻く」などして、時計本体に洗剤や石鹼水がかからないようにしてください。

■ 抗菌防臭バンドについて

- 抗菌防臭バンドは汗などによる細菌の増殖を抑え、においの発生を防ぎ、常に清潔で快適な装着感が得られます。抗菌・防臭の効果を上げるために、バンドの汚れ、汗、水分等は吸湿性の良い柔らかい布で拭き取り、常に清潔にしてご使用ください。抗菌防臭バンドは微生物や細菌の増殖を抑えるためのもので、アレルギー等による皮膚のかぶれ等を抑えるものではありません。

■ 液晶表示について

- 液晶表示は、見る方向によって表示が見えにくくなる場合があります。

万一、本機使用や故障により生じた損害、逸失利益または第三者からのいかなる請求についても、当社では一切その責任を負えませんのであらかじめご了承ください。

お手入れについて

■ お手入れのしかた

時計も衣類同様、直接身につけるものです。長くお使いいただくために、汚れ・汗・水分などは柔らかい布などでこまめに拭き取り、常に清潔な状態でご使用ください。

- 海水や泥がついた場合は、真水でよく洗い流してください。
- 金属バンドおよび樹脂バンドの金属部品は、柔らかい歯ブラシに中性洗剤を水で薄めた液や石鹼水をつけて、こすり洗いをしてください。その後、洗剤成分を水でよく洗い流し、柔らかい吸湿性の良い布などで水分を拭き取ってください。なお、洗うときは「調理用ラップを巻く」などして、時計本体に洗剤や石鹼水がかからないようにしてください。
- 樹脂バンドは、水で洗い、柔らかい布などで水分を拭き取ってください。また、樹脂バンドの表面にシミのような模様が発生することがありますが、人体および衣類への影響はありません。布などで拭き取ってください。
- 皮革バンドは、水や汗がついた場合には、柔らかい布などで軽く拭いてください。
- りゅうずやボタンや回転ベゼルは、長期間操作しないと動きが悪くなる場合があります。ときどき、りゅうずや回転ベゼルの回したり、ボタンを押ししたりしてください。

■ お手入れを怠ると

〈さび〉

- 時計で使用している金属はさびにくい性質ですが、汚れによりさびが発生します。
 - 汚れにより酸素が絶たれると、表面の酸化皮膜が維持できなくなり、さびが発生します。
- さびが発生すると、金属部分に鋭利な箇所ができたり、接合部のピンが飛び出したり抜け落ちたりすることがあります。異常に気がついた場合は、ご使用をやめて、修理（有償）をお買い上げの販売店または「修理サービス窓口」にお申し付けください。
- 表面はきれいでも、すきまに付着した汚れやさびがしみ出して、衣類の袖を汚したり、皮膚がかぶれたり、時計の性能が劣化することがあります。

〈劣化〉

- 樹脂バンドや樹脂ベゼルは、汗などの水分で濡れたままにしていたり、湿気の多い場所に放置すると経年劣化し、切れたり、折れたりすることがあります。

〈かぶれ〉

- 皮膚の弱い方や体調により、かぶれたりすることがあります。特に、皮革バンドや樹脂バンドをお使いの方は、こまめにお手入れをしてください。万一、かぶれた場合には、そのバンドの着用を中止し、皮膚科の専門医にご相談ください。

電池交換について

- 電池交換は必ずお買い上げの販売店または「修理サービス窓口」にお申し付けください。
- 電池は必ず当社指定の専用電池と交換してください。指定以外の電池を使用しますと故障の原因となります場合があります。
- 電池交換の際、防水検査を行います。
- 樹脂（外装）部品は日々のご使用により劣化し、切れたり折れたりする場合があります。電池交換ご依頼品の樹脂部分にひびなどの異常がある場合、破損の恐れがありますので作業を行わずにご返却する旨のご案内をさせていただいております。あらかじめご了承ください。

■ 最初の電池

- お買い上げの時計に組み込まれている電池（モニター用電池）は、工場出荷時点で時計の機能や性能をチェックするために組み込まれたものです。
- お客様がお買い上げになるまでの期間に電池は消耗しますので、モニター用電池は取扱説明書などに記載されている電池寿命に満たない場合があります。また、電池交換は保証期間内でも有料となります。

■ 電池の消耗

- 電池が消耗しますと「時刻の狂いが目立ったり」「表示が見にくくなったり」「消えたり」します。
- 消耗した電池を使っていると故障の原因になりますので、お早めに交換してください。

金属バンドの駒詰めについて

金属バンド（フリータイプの中留構造バンド※を除く）の駒詰めには専用の工具が必要となります。お取り扱いによる、部品の変形や破損、またはけが等を予防するためにも、お買い上げの販売店にご相談ください。なお、「持込修理サービス受付窓口」においても保証期間内は無償、保証期間経過後は有償にて承っております。詳しくは、「持込修理サービス受付窓口」または「修理に関するお問い合わせ窓口」へお問い合わせください。

※ 中留をスライドさせて長さ調整するフリータイプのバンドでは、駒の取り外しはできません。

（例）

